

2022 年度日本語教師養成科シラバス

日本語教育学 < 420 時間研修必修科目 >

科目名	単位時間数	内容
日本語教育学Ⅰ	41	日本語教師の仕事とは何か、外国語教授法、外国語学習法などについて学ぶ。初級の授業について文型の導入方法、練習方法などを実践しながら、その組み立てを学ぶ。また、実際の初級レベルの授業を見学する。
第1回教壇実習	74	実際の日本語学習者を対象に、初級文型の授業の教壇実習をする。文型項目の分析、指導案作成、教材作成、リハーサル、授業実施、授業振り返りという流れで実施する。
日本語教育学Ⅱ	55	コースデザインと、「読む」「聞く」「話す」「書く」四技能別の授業や教材について、中上級の日本語の授業についてなどを学ぶ。また、実際の中級レベルの授業を見学する。
【課題】教科書分析	20	初級の総合テキストの特徴、長所・短所などを分析する。また、そのテキストのある1課を選び、カリキュラムを作成する。
【課題】中上級技能教材	35	中級レベルの「読む」「聞く」「話す」「書く」四技能別に教材作例練習をする。その後、「読む」または「聞く」技能の教材を作成する。
第2回教壇実習	68	中級レベルの学習者に合った教材を作成し、「読む」「聞く」「話す」「書く」四技能のいずれかを伸ばす授業の教壇実習をする。
【課題】評価	21	日本語教育における評価とは何か、さまざまな観点から学ぶ。その後、課題として、初級学習者向けのテストを作成する。

日本語学 < 420 時間研修必修科目 >

科目名	単位時間数	内容
文法Ⅰ	24	日本語教育における基本的な文法用語、自動詞・他動詞、「～と、」「～たら」（条件節）などの初級の文型について分析的に学ぶ。また、その文型をはじめて学ぶ学習者向けの例文作成練習をする（Ⅰ～Ⅳ共通）。
文法Ⅱ	24	授受表現、指示詞、助詞などの初級文型について、その意味や使い方について分析的に学ぶ。
文法Ⅲ	24	受身形、テンス（時制）、アスペクト（時間の流れや段階に合わせた表現）などの初級文型について分析的に学ぶ。また、その文型の学習者の誤用について考える。
文法Ⅳ	24	「は」と「が」、アスペクト、「～なら」のような条件などの初中級の文型について分析的に学ぶ。また、これらの文型について、使い分けの説明や、誤文などについても考える。
音声Ⅰ	22	日本語の音の特徴、拍感覚、単音（各母音、子音）の作られ方、発音上の注意点や学習者が苦手とする音とその理由などについて学ぶ。

音声 II	18	日本語の韻律的特徴（アクセント、イントネーション、プロミネンス）と、学習者への発音指導の方法について学ぶ。
-------	----	---

日本文化論 < 420 時間研修必修科目 >

科目名	単位時間数	内容
コミュニケーション	16	日本人の言語・非言語コミュニケーションの特徴、言語習慣の違いによる摩擦などについて学ぶ。
語彙	18	語彙論の基礎知識、語彙体系や語種など、日本語の語彙の特性について学ぶ。
地理	20	日本の地方区分、各地方の特徴、日本の産業の特徴などについて学ぶ。また、主要な地名、名所、名産品などについても学ぶ。
歴史	16	日本の歴史の大まかな流れや、各時代の特徴などについて学び、日本文化や日本語に関する歴史的背景を理解するための基礎知識を得る。
表記	12	日本語の表記の特徴、今日の表記方法が確立するまでの歴史、現在の日本語の表記方法が抱える問題などについて学ぶ。
日本語と日本社会	16	日本人の生活習慣や日本的な社会通念や発想を知り、それらが日本語や日本人の言語慣習、行動に及ぼす影響について考える。
待遇表現	12	敬語を含む、日本語の待遇表現の特徴、分類、用法などについて学ぶ。
意味	9	意味論、語用論についての基礎知識、日本語の意味的な変化、類義語、多義語などについて学ぶ。
日本語の歴史と位相差	14	地域や性別、年齢、職業などによって異なる言語的特徴や日本語の音韻の変遷などについて学ぶ。

日本語演習 < 非日本語母語話者限定科目 >

科目名	内容
読解 1	新聞のニュース記事、論評、物語などを、大意把握と詳細な内容理解の 2 段階に分けて読み、読解力と語彙力を養う。また、教育学の教材作成の際の参考になるよう、各問題の意図なども意識しながら読む。
読解 2	生素材が掲載された読解教材を使って、目標を意識しながら正確な文章の読解力を養う。読んだ内容に基づいて討論したり、意見文を書いたりする。
聴解 1	10 分程度のテレビ番組を全体の構成を意識しながら概要を聞き取り、聞いた内容について話したりまとめたりする能力を養う。
聴解 2	講義や研究発表などを題材に、話者の考えや主張などの概要を聞き取る。また、聞いた内容について話し合ったり要旨をまとめたりする能力を養う。
発話 1	口頭発表の表現、質疑応答の表現を学び、フォーマルな表現で口頭発表ができる力を養う。日本人にインタビューをし、資料にまとめて発表する。
発話 2	自分が選んだ記事について、話の構成や流れを意識しながら説明をする。討論会の司会進行の表現や質疑応答の表現を学び、他者の意見を聞きながら会を進行したり意見を述べたりする能力を養う。
文章表現 1	読んだ文章の要旨を書く能力を養う。

文章表現 2	フォーマルな書き言葉を学び、自分の意見を書く能力を養う。引用部分と自分の意見部分を分けてまとめる。
音声実技 1	「音声Ⅰ」で学んだことを実践（発音）練習し、より正確に単音を発音できるよう練習する。
音声実技 2	「音声Ⅱ」で学んだことを実践（発音）練習し、アクセント記号の通り発音したり、感情や表現意図を意識した韻律で発音できるよう練習する。